

中央大学校歌

作詞 石川 道雄
作曲 坂本 良隆

一 草のみどりに風薫る

丘に目映き白門を

慕い集える若人が

真理の道にはげみつ

栄ある歴史を承け伝う

ああ中央 われらが中央

中央の名よ光あれ

二 よしや嵐は荒ぶとも

揺るがぬ意気ぞいや昂く

春の驕奢の花ならで

みのりの秋やめざすらむ

学びの園こそ豊かなれ

ああ中央 われらが中央

中央の名よ誉あれ

三 いざ起て友よ時は今

新しき世のあさぼらけ

胸に血潮の高鳴りや

湧く歌声も晴れやかに

自由の天地ぞ展げゆく

ああ中央 われらが中央

中央の名よ栄あれ

あ、中央の若き日に

(中央大学応援歌)

中央大学学友会選定歌詞

作曲 古閑 裕而

一 憧れ高く空ひろく

理想の光あやなせる

あ、中央の若き日に

伝統誇る白門の

闘い挑む旗揚げ

力 力 中央 中央

二 情熱と力の若人が

精鋭こそりふるいたつ

あ、中央の若き日に

雄叫ぶ血汐 紅は

闘魂たぎる火と燃える

力 力 中央 中央

三 我らが誇り覇者の歌

燦たり栄光我が生命

あ、中央の若き日に

今ぞ座らん覇者の座に

いざ勝どきを揚げんかな

力 力 中央 中央

惜別の歌

作詞 島崎 藤村
作曲 藤江 英輔

一 遠き別れに耐えかねて

この高樓に登るかな

悲しむなかれわが友よ

旅の衣をと、のえよ

二 別れといえは昔より

この人の世の常なるを

流る、水をながむれば

夢はずかしき涙かな

三 君がさやけき目のいろも

君くれないのくちびるも

君がみどりの黒髪も

またいつか見んこの別れ

四 君の行くべきやまかわは

落つる涙に見えわかず

袖のしぐれの冬の日に

君に贈らん花もがな

※「惜別の歌」は、作曲者・藤江英輔が、島崎藤村の詞「高樓」を藤村のご遺族の許諾の下に一部改め、曲を付したものである。